

外部研修

11月16日に函館脳外傷リハビリテーション講習会に参加して

名前：逢見 潤平

【感想】

今回の講習会は、脳外傷により高次脳機能障害を負った患者さんに関わる精神科医とご家族からの講話の2部構成だった。精神科医ならびにご家族からのそれぞれの視点を知ることができた。

精神科医の講話では脳外傷によりどのような障害を受けるかという症状の紹介といくつかの症例を交えた話を聞くことができた。特に印象に残ったのは脳外傷により、いわゆる高次脳機能障害を負うが、その症状の把握は単純ではないということだった。たとえば、記憶障害を例にとると、それは、注意障害、意欲低下、遂行機能障害などのどの障害によるものかを把握することが患者さんに関わる上で大切だと感じた。

ご家族の講話では退院後どのような工夫をして患者さんに関わってきたかを知ることができた。ご家族が患者さん本人の症状を記録し、主治医の先生へお手紙を書くことで、高次脳機能障害への理解を深めていっていたことが印象に残った。

今後、高次脳機能障害の患者さんに関わる際には、退院後の生活を想定すること、また、その方の症状の特徴を理解し、退院後、関わるご家族等へ具体的な方法を提示することが重要だと感じた。